

英国スタディツアー行程表

日付	プログラム詳細		宿泊先
9/8(土)	15:30集合 17:25発	成田空港 タイ国際航空南ウイング 4階・Fカウンター集合 成田空港	
9/9(日)	7:15着 夕方	ヒースロー空港 →バーミンガム(高速バス、約3時間半) ホテルにてミーティング	バーミンガム JURYS INN BIRMINGHAM
9/10(月)	9:30→10:00 10:00→11:30 午後	グラウンドワーク本部&現場訪問(徒歩) グラウンドワーク UK 訪問 グラウンドワーク UK 活動現場	
9/11(火)	8:30→10:30 12:00→12:20 12:30→ 13:30→14:30 →16:00 16:30→18:45	ホテル→コッツウォルズ(貸切バス) コッツウォルズの村々視察、ランチ コッツウォルズ保全委員会事務所(貸切バス) コッツウォルズ及び保全委員会についての説明 現地視察 →16:00 野外活動体験 オックスフォードのホテルへ(貸切バス)	オックスフォード Hampton by Hilton Oxford
9/12(水)	13:30→14:15 16:00→18:30	オックスフォード市内視察 タックリー村へ(貸切バス) ブランケット財団担当者とは合流 ブライトンのホテルへ(貸切バス)	ブライトン Kings Hotel
9/13(木)	9:30→	コミュニティ・ウッド・リサイクリング(徒歩) 景勝地セブン・シスターズ見学	
9/14(金)	7:00→8:30 9:20着 9:30→11:00 11:30→12:40 13:45着 14:00→15:30 夜	ロンドンへ(鉄道) バイクワークス着(地下鉄) バイクワークス 説明、ショップ・トレーニングセンター見学 ロンドン市内へ移動、ランチ(地下鉄) 13:45着 グラウンドワーク・ロンドン グラウンドワーク・ロンドンプレゼン (希望者はミュージカルへ)	ロンドン ROYAL NATIONAL
9/15(土)	9:00→11:00 12:00→13:30 17:00→18:30	自由行動(希望者は下記行程) ロンドン・グロブ座 ロンドンブリッジ駅より10分(地下鉄) 世界遺産都市バス 日帰り パティトン駅より(鉄道) ロンドンへ(鉄道)	
9/16(日)		ロンドン市内自由行動	
9/17(月)	→9:15着 10:24→13:47	ホテル→セントパンクラス・インターナショナル駅 (地下鉄) ロンドン→パリ、車内でランチ(ユーロスター) パリ北駅→ホテル(地下鉄)	パリ ibis styles paris massena olympiades
9/18(火)		パリ市内自由行動	
9/19(水)	→11:00着 13:40発	ホテルよりシャルル・ド・ゴール空港へ(地下鉄) シャルル・ド・ゴール空港	
9/20(木)	15:45着	成田空港着	

主な訪問先の概要

<p>■英国グラウンドワーク (Groundwork UK) http://www.groundwork.org.uk/ 英国グラウンドワークは、1980 年代初頭、英国内の地域社会の衰退を背景に、環境省によって設立された。住民・企業・行政がパートナーシップを組み、地域環境の改善を通して経済および社会の再生を図り、持続可能な地域社会を構築することを目的としている。各地域に設立された実働団体（トラスト）においては、専門性を備えたスタッフが中心となり、地域の再生と活性化に向けパートナーシップ型のプロジェクトを展開している。</p>
<p>■バイクワークス (bikeworks) 2006年、株主のための企業でなく、地域のための企業として設立された。自転車を通じて、環境を意識しつつ、現在30人を雇用して、地域に根付いた活動を行っている社会的企業である。</p>
<p>■グラウンドワークロンドン (Groundwork London) 英国の首都ロンドンに本拠地があり、環境に優しく、活気がある持続可能な地域づくりをミッションとして活動している。</p>
<p>■コミュニティ・ウッド・リサイクリング (Community Wood Recycling) 廃材利用を通じて環境改善及びチップ化することを、体の不自由な人やマイノリティの人に職業訓練をすることでスキルを身に着け、仕事に就けるようにしている社会的企業である。</p>
<p>■コッツウォルズ (Cotswold) 古くは羊毛の交易で栄えた歴史があり、今も昔ながらのイングランドの面影を残した建物や田園地帯が残っている。近年、これらの景観を活かした観光業が盛んになり、毎年多くの観光客が訪れている。</p>
<p>■タックリー村 (Tackly Village) オックスフォードより北へ12マイルに位置する村で人口約1000人。郵便局の撤退など衰退が進む中、ボランティアが中心となって、いまでは郵便局からパブ、小学校の運営まで行うようになっている。</p>
<p>■世界遺産都市：バース 1987年に街全体が世界遺産登録。お風呂の「bath」という言葉の由来にもなった温泉の歴史は古く、紀元前にまで遡る。そうした資源を活用し、18世紀から19世紀にかけてのジョージ王朝時代は、温泉リゾート都市として栄える。ローマ浴場跡、バース大僧院、ロイヤル・クレセント集合住宅などの歴史的資源が市街地内に点在する、英国有数の観光都市（人口約8.3万人）。</p>
<p>■ロンドン (London) 英国の首都ロンドンは、屈指の世界都市であり、世界で最も多くの来訪者数を誇っている。芸術、商業、教育、娯楽、ファッション、金融など幅広い分野で強い発信力・影響力を保持している。</p>
<p>■ブライトン (Brighton) 英国有数の海浜リゾート地。ビーチが主要な観光資源であり、砂浜に沿ってバー、レストラン、ナイトクラブなどが立ち並んでいる。今回は、ブライトン観光局を訪問し、観光振興などの取り組みについて話を伺う。</p>
<p>■セブン・シスターズ (Seven Sisters) イングランド南東端、イギリス海峡に臨む白亜紀の石灰岩の海食崖。切り立った断崖の波打つ断面が、7人の乙女が並び立っているように見えることからその名がついた。付近一帯は公園に指定され、海鳥や海浜植物が保護されている。</p>

